

研修センター便り NO1 後志教育研修センター

平成26年4月 15日発行 TEL 0136-22-1337 FAX 0136-22-2681

「恐れ無きを施す」、そのお手伝いを今年度も

所長 平 正博

陽春の候、皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。年度末から始めにかけ、学校や教育団体の研究集録がたくさん届きました。地球規模的に見るまでもなく、わが国の先生方は授業研究におけるフロントランナーであります。そしてそのことを裏付けるかのように、各校の集録には授業研究における全体構想が論証的推論に基づいて構築され、その構想を支える研究授業の蓋然性について検証がなされておりました。ある小学校の研究集録には、「大丈夫。落ち着いてやって」「やった！ちゃんとできたね！」などの言葉をタイムリーにかけて、子どもの学習への不安を取り除いている授業事例がありました。そこには、子どもの学習や集団への恐れを取り除くことと、研究を帰納的に積み重ねることの両輪で、確実に信頼できる成果がありました。研究集録を送付してくださいました校長先生をはじめ、教育関係団体の皆様に心より感謝申し上げます。

さて、四月は新年度の目標を定める月であります。大人も子どもも、大きな希望を胸いっぱい抱き、一心に前を向きスタートを切ったところかと推察しております。しかし、一方では、歩んだことのない道に対して極めて大きな不安を抱いている子ども少なからずいるかと思ひます。

そのような時にこそ、「大丈夫だよ。安心していいよ」という教師からの言葉がけは、それらの子の心に一灯を照らし、たくましく賢明に生きる道を示すはずであります。

年度が改まった今、真新しい教科書を前にして、「この学級で一年間安心して学んでください。学力も十分に付くようになるからね」と、子どもの情緒の安穩と学問の論理を一致させ、子どもに意欲を彷彿させる授業研究は、教師の不易の施しかと存じます。「子どもに不安が無いように教育的配慮を欠かさない」、そのような教職員等の皆様の施しについて我々職員は理解を深め、利他の心を第一義とし運営に当たります。今年度もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

平成26年組合議会第1回定例会終了する

～今年度の事業計画・予算等の執行につき議決を得る～

平成26年3月28日、当センター組合議会第1回定例会が開催されました。最初に承認事項が4点、認定事項が1点採決された後、本年度に向けて福島世二組合長の執行方針、続いて窪田 栄組合教育委員会教育長からの事業計画の説明がありました。それらの議案が出席議員すべての賛成により議決された後、平野事務部長が予算の執行にかかわる議案を提案し、それらについても満場一致で議決されました。



なお、本議会の開催に当たっては、小樽市議会議長で当センター組合議会議長でもあります横田久俊氏には、数回の打合せの中で貴重なご指導をいただくなど、大変お世話になりました。ありがとうございました。また、公務ご多用の中、ご出席賜りました町村長、議会議員の皆様には深く感謝申し上げます。子どもたちに明るい未来を拓くには、教育が担う責任は極めて大きいものがございます。教職員等の皆様と理念を分かち合い、手を携えて進んでまいります。

駒場秀剛 研修部長（倶知安町立倶知安中学校主幹教諭）には、7年間という長期にわたり当センターの要職を務めていただきました。センターのリーダーとしてはもとより、組合教育委員会や組合議会などにも積極的にかかわっていただきました。その間、道研連共同研究推進委員長を歴任されるなど、後志管内のみならず全道的にも多大な貢献をされた得難い所員でありました。

長い間のご指導に心より感謝申し上げますとともに、今後の更なるご活躍をご期待申し上げます。次にセンター兼務所員を紹介します。研修部長 新栄 裕 所員（倶知安町立倶知安小学校教諭）、研修講座主事 松林 丘峰 所員（倶知安町立倶知安中学校 教諭）、調査研究主事 森山将司 所員（倶知安町立倶知安中学校 教諭）でございます。よろしくお願い致します。

なお、他の所員の氏名につきましては、辞令交付を終えた次回号でお知らせ致します。